

1. 科目名 (単位数)	神経・生理心理学/生理心理学 (2単位)		3. 科目番号	
2. 授業担当教員	蓮井 千恵子			
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	学習・言語心理学、知覚・認知心理学を履修済みであることが望ましい。			
7. 講義概要	生理心理学とは、生体の生理的反応と心的過程との対応関係について研究する分野である。心的反応によって生じる生理的变化は、脳内活動によって制御されている。本講義では脳の構造と働きについて体制的な知識を身につけるとともに、知覚、記憶、感情といった心的過程と脳の生理的反応の関係について学ぶ。さらに、精神疾患や高次脳機能障害との関連についても学び、「心」の問題と脳の活動について理解を深める。			
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・脳の構造と働きについて基本的な知識を身につける。 ・心的過程や精神疾患に脳がどのように関わっているのか学ぶ。 ・上記の応用として、臨床事例や高次脳機能障害と脳の活動について説明出来るようになる。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	理解度確認のため、小テストを課します。 グループ活動を行います。			
10. 教科書・参考書・教材	教科書：岡田隆・廣中直行・宮森孝史 (2024) 生理心理学 (第3版) サイエンス社			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳の構造や働きについて基本的な知識を身につけ、説明できること。 ・心的過程や精神疾患に脳がどのように関わっているかを理解し、説明できること。 ・臨床事例や高次脳機能障害と脳の活動の関係について説明できること。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度 10%、小テスト (3回) 70%、レポート課題 20%として総合的に評価を行う。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	本授業では、こころの働きを脳の神経活動の側面から理解することを目的としています。心理現象を脳整理との関連で捉える知識を学びます。心理学と生理学の学問的関連性と独立性について検討する足掛かりとしたいと思います。心理学科の学生にとって、なじみの無い専門用語がたくさん登場するかもしれません。本授業は、教科書の全内容を網羅することを目的とします。グループで活動を行います。			
13. オフィスアワー				
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション グループ分け	事前学習	テキストの監修のこぼ、はしがきをよむ	
		事後学習	講義の復習 次章の準備	
第2回	生理心理学	事前学習	テキストの第0章を読む	
		事後学習	講義の復習 次章の準備	
第3回	脳の構造	事前学習	テキストの第1章を読む	
		事後学習	講義の復習 次章の準備	
第4回	脳の信号	事前学習	テキストの第2章を読む	
		事後学習	講義の復習 次章の準備	
第5回	脳と知覚	事前学習	テキストの第3章を読む	
		事後学習	小テスト準備	
第6回	小テスト1回目 脳と記憶	事前学習	テキストの第4章を読む	
		事後学習	講義の復習 次章の準備	
第7回	脳と学習	事前学習	テキストの第5章を読む	
		事後学習	講義の復習 次章の準備	
第8回	脳と情動	事前学習	テキストの第6章を読む	
		事後学習	講義の復習 次章の準備	
第9回	脳と動機付け	事前学習	テキストの第7章を読む	
		事後学習	講義の復習 次章の準備	
第10回	小テスト2回目 脳と睡眠	事前学習	テキストの第8章を読む	
		事後学習	小テストの準備	
第11回	脳と意識	事前学習	テキストの第9章を読む	
		事後学習	講義の復習 次章の準備	
第12回	発達と脳	事前学習	テキストの第10章を読む	
		事後学習	講義の復習 次章の準備	
第13回	神経心理学	事前学習	テキストの第11章を読む	
		事後学習	講義の復習 次章の準備	
第14回	心の病気と脳	事前学習	テキストの第12章を読む	
		事後学習	小テストの準備	
第15回	小テスト まとめ	事前学習	教科書でわからないところを明確にする	
		事後学習	わからないところを理解する	